

大野南中学校 教育ビジョン2026

学校教育目標

憧れ 共に 始めの一步

《期待する南中生の姿》

- 目標を持ち、自分らしさを求めよう
- お互いの良さに気づく、豊かな心を高めよう
- 失敗を恐れず、一步前へ踏み出そう

めざす教師像

- ①【教育への思い】
「生徒にとって、最大の教育環境は教師自身(教師集団)である」という気概を持って取り組む教師
- ②【教育の想像】
主体的・意欲的に取り組む教師
- ③【支援する教育】
適切に対応できる教師
- ④【人権】
互いを尊重し、人権的な配慮や行動のとれる教師
- ⑤【教育の効果】
協力・協働を大切にする教師
- ⑥【信頼関係】
家庭・地域と積極的に関わられる教師

今年度教育推進の重点

人権尊重の考え方を基盤に

豊かな心を育み、自己実現力を高める教育の推進

重点項目1【学力の保障】

- 学ぶ喜びを実感できる授業を構築し
確かな学力と社会的実践力を育成する
- 1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識し、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業展開
- 2 ICTの活用による学びの保障
- 3 放課後学習会の充実
- 4 総合的な学習の時間や教科での探究的な学習の推進

重点項目2【豊かな心を育てる】

- 「心の教育」「シビックプライド」「キャリア教育」などを通して多様な考え方や生き方にふれ、心を育てる
- 1 活動・行事をととして社会的実践力の習得
- 2 道徳教育の充実
- 3 総合的な学習の時間等を通じて「シビックプライド」意識の推進
- 4 系統性を意識した「キャリア教育」の実践
- 5 夜間学級生徒との交流推進

重点項目3【自ら考え、判断し、行動する力を育成する】

- 安心して過ごせる学校の実現のために
あらゆる機会に考えさせる指導を大切にする
- 1 積極的な生徒理解と生徒指導
- 2 生徒会活動を活性化し、生徒の自主・自立・自律の支援
- 3 望ましい人間関係や一人ひとりの居場所をつくり、自己肯定感、自己有用感の育成
- 4 いじめや問題行動を生まない雰囲気作りと土壌作り
- 5 相談活動の充実
- 6 (仮称)校内支援教室《R8年度新設》の有効活用

重点項目4【家庭・地域に開かれた学校の実現】

- 1 魅力と信頼に溢れた教育活動の展開と発信
- 2 小中一貫教育の充実・発展

重点項目5【学校運営における働き方改革の推進】

- 1 教育活動内容の積極的な見直しと精選
- 2 生徒と向き合う時間の確保

めざす学校像

- ①【学力の保障】
「わかった」「できた」が実感できる学校
- ②【主体性の尊重】
生徒自らが考えて・判断し・行動できる学校
- ③【自己肯定感】
生徒一人ひとりの居場所が確保されている学校
- ④【協同・調和】
和やかで、おもしろい学校
- ⑤【危機管理】
安心・安全な学校
- ⑥【連携・信頼】
家庭・地域に開かれている学校

南中生の「五つの行動目標」

- ① まず、聞こう 「しっかり話を聞き、気持ちまで聞き取ろう」
 - ② 感動を共に 「役割を互いに支え、励まし合う喜びを知ろう」
 - ③ せかずに考えよう 「いろいろな意見の違いを受けとめ考えよう」
 - ④ 手始めは いつも挨拶から 「いつでも、どこでも あいさつからはじめよう」
 - ⑤ 余裕は5分前 「いつの時でも、準備して待つゆとりを持とう」
- ※ 合言葉は、『ま・か・せ・て・よ』